

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

一般会計

事務事業番号	事業名			担当部署	事業の評価	ページ
	款	項	目			
	農水産業費	農業費	農業委員会費			
06010101	農地情報収集等業務効率化支援事業			農業委員会事務局	B	276
	農水産業費	農業費	農業振興費			
06010201	苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助			農業水産振興課	B	277
06010202	経営所得安定対策等推進事業			農業水産振興課	A	278
06010203	就農者等支援事業			農業水産振興課	A	279
06010204	多面的機能支払交付金事業			農業水産振興課	A	280
06010205	地域資源活性化推進事業			農業水産振興課	B	281
06010206	肥料価格高騰対策農業者支援事業			農業水産振興課	A	282
	農水産業費	農業費	畜産業費			
06010301	農業・畜産・酪農収益力強化対策事業			農業水産振興課	A	283
06010302	畜産担い手育成総合整備事業			農業水産振興課	B	284
	農水産業費	水産業費	水産振興費			
06020101	苫小牧産農水産物プロモーション事業			農業水産振興課	B	285
06020102	資材価格高騰対策漁業者支援事業			農業水産振興課	A	286
06020103	水産業振興対策事業			農業水産振興課	B	287

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 01農業委員会費

事務事業番号 06010101

事業名		農地情報収集等業務効率化支援事業		担当部署	農業委員会事務局			
根拠法令		農業経営基盤強化促進法						
令和4年度決算額		303	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金	303	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		1,480	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 B </div>				
決算額		303	千円					
人件費		1,177	千円					
事業の目的		農林水産省が「人・農地などの関連施策の見直しについて」で示している「目標地図」の作成・実現に必要な農地の出し手・受け手の意向等や農地の利用状況調査を現場で確認、即時情報共有できる体制を整えます。						
事業の内容		SDGs17の目標 タブレット端末 7台 通信料、MDM使用料 1式						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		タブレット端末			台	7	—	—
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性			●			タブレット端末導入により、各種調査結果が速やかに農業委員会サポートシステムへ反映され、事務作業の軽減が期待できるため、「3」としました。		
効率性		●				これまで実施していた紙の地図を用いて現地確認を行う作業方法に比べ、タブレットの現地確認アプリと農業委員会サポートシステムの連携により作業の効率化が図られるため「4」としました。		
公平性		●				農業委員が全員使用できることから「4」としました。		
将来性			●			単年度事業であるが、今後の活動で様々な使い方が期待できるため「3」としました。		
総合評価		B		国の補助金を活用し、今後必要となる各種作業に活用できるタブレット端末を導入できました。今後、目標地図の作成に向け、有効に活用していきたいと考えております。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010201

事業名		苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助		担当部署	産業経済部 農業水産振興課		
根拠法令		鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律					
令和4年度決算額		4,173	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	4,173	千円				
事業費（総計）		7,038	千円				
決算額		4,173	千円				
人件費		2,865	千円	総合評価	B		
事業の目的		野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているなか、鳥獣被害防止特措法が平成20年に施行され、本法に基づく被害防止計画の作成を推進するとともに被害防止計画に基づく取組に対して国（道）から支援を受け、野生鳥獣による農作物等に対する被害を軽減し、農水産業の発展に寄与することを本事業の目的としています。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会が実施する鳥獣の被害防止のための取組を総合的に支援し、具体的には最も農作物への被害を与えているエゾシカ被害防止対策に重点を置き、捕獲器材の導入や苫小牧市鳥獣被害対策実施隊による捕獲鳥獣の解体処理作業に関する費用等の補助や、鳥獣被害防止施設（電気柵）の購入を行い、農作物被害の軽減を目的に事業を実施しました。また、近年交通事故や市街地への出没等も増えており、生活環境被害の軽減も目指しました。</p>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		くくりわなによるエゾシカ捕獲		頭	515	498	452
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性			●			事業の実施により被害に対し一定の抑制が図られたことから、「3」としました。	
効率性			●			農業被害を中心とした捕獲活動と並行して、生活環境被害における捕獲活動を実施したため、「3」としました。	
公平性		●				農業地区である植苗・美沢地区と樽前地区それぞれにおいて、取り組んだことから、「4」としました。	
将来性		●				今後も継続的に事業を実施することで、農業被害・生活環境被害の軽減に取り組んでいくことから、「4」としました。	
総合評価		B		事業実施により農業被害の抑制が図られることから、一定の成果があると考えております。年々エゾシカの出没頭数が増えていることもあり、引き続き捕獲活動とともに鳥獣被害防止施設の購入を実施し、被害防止に努めます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010202

事業名		経営所得安定対策等推進事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課						
根拠法令											
令和4年度決算額		90	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	89	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	1	千円								
事業費（総計）		806	千円	総合評価	A						
決算額		90	千円								
人件費		716	千円								
事業の目的		農業経営の安定化を図るため、販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を補正する交付金及び農業収入の減少がその農業経営に及ぼす影響を緩和するための交付金を交付する制度である経営所得安定対策を推進するための活動主体となる苫小牧市地域農業再生協議会を支援します。									
事業の内容		SDGs17の目標 苫小牧市地域農業再生協議会が行う下記活動に対し助成しました。 ※地域農業再生協議会の活動内容 1 経営所得安定対策制度の普及推進活動 2 申請書類等の配布、回収、整理取りまとめ、受付 3 対象作物（産地交付金の助成作物を含む）の作付面積等の確認事務 4 農業者情報のシステム入力・集計事務 5 その他本対策の円滑な実施に必要な活動									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		苫小牧市地域農業再生協議会補助金			千円	90	90	89			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							経営所得安定対策を適正かつ円滑に実施したことにより、農業経営の安定と対象農産物の地域における生産力の確保につなげたため、「4」としました。		
効率性		●							苫小牧市地域農業再生協議会による申請書類等の取りまとめや作付面積等の確認事務等により、効率的に業務を進めたため、「4」としました。		
公平性		●							苫小牧市地域農業再生協議会による経営所得安定対策制度の普及推進活動によって対象となり得る農業者への周知を徹底したため、「4」としました。		
将来性		●				農業経営の安定と対象農産物の地域における生産力の確保につながると考えているため、「4」としました。					
総合評価		A				経営所得安定対策が適正かつ円滑に実施されています。今後も適正かつ円滑に実施されることにより、農業経営の安定と対象農産物の地域における生産力の確保につなげていきたいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010203

事業名		就農者等支援事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課						
根拠法令											
令和4年度決算額		2,500	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金	1,500	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	1,000	千円								
事業費（総計）		3,932	千円								
決算額		2,500	千円								
人件費		1,432	千円								
事業の目的		新規就農者に対して、農業次世代人材投資資金の交付や市独自での農業設備等への初期投資助成を行い、資金面での負担を軽減することで経営安定を図り、就農後の定着につなげます。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 北海道農業次世代人材投資事業（経営開始型） 市内において、次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対して、資金の交付を行いました。</p> <p>2 新規就農者等支援事業 市内の新規就農者等の経営に必要な農機具に対し、助成を行いました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		北海道農業次世代人材投資資金対象者			人	1	0	1			
		新規就農者等支援事業対象者			人	2	1	0			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に交付を行うことで経営の安定化に寄与することができたため、「4」としました。		
効率性		●							農作物の収穫量や農業所得が不安定な就農初期に交付を行うことで、農作業に集中して取り組める環境づくりに繋がっていると考えられるため、「4」としました。		
公平性		●							新規就農予定者や、新規就農相談者ごとに事業説明及び交付要件等の案内をしていることから、「4」としました。		
将来性		●				事業の継続により、本市の農業生産量の維持・拡大を図り、将来にわたって地域農業の担い手を安定的かつ計画的に確保していく必要があるため、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり新規就農者の負担軽減に寄与しています。新たな担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、今後も継続して実施していくことで新規就農者の負担軽減を図り、就農後の定着につなげていきたいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010204

事業名		多面的機能支払交付金事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課			
根拠法令		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律						
令和4年度決算額		3,910	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金	2,933	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	977	千円					
事業費（総計）		5,342	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>				
決算額		3,910	千円					
人件費		1,432	千円					
事業の目的		平成27年度から施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援を行い、多面的機能が今後とも適切に発揮されるようにするとともに、担い手の育成等構造改革を後押ししていきます。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>植苗・美沢地区に「植苗・美沢地区資源保全会」、樽前地区に「タルマイ会」という活動組織を設立し、活動組織は目的を達成させるための計画を策定しました。市は、その計画を認定し、農用地面積に応じ補助金を交付、その補助金で活動組織は、農地維持活動（対象地区内での草刈り等）及び資源向上活動（対象地区内での花壇作り等）を実施しました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				活動組織による農地維持活動及び資源向上活動を実施したため、「4」としました。		
効率性		●				地区毎の活動組織において、組織として効率的に取組を実施したため、「4」としました。		
公平性		●				地区毎で、農業者と地域住民が交流しながら資源向上活動（対象地区内での花壇作り・農道のゴミ拾い等）に取り組んでいるため、「4」としました。		
将来性		●				交付金を活用した継続的な地域農業資源の保管理を行うことで、多面的機能が発揮されると考えられるため、「4」としました。		
総合評価		A				項目評価のとおり、農業者と地域住民の交流機会が確保されています。今後も活動組織が円滑に地域活動を継続していくことができるよう、関係組織（北海道日本型直接支払推進協議会事務局及び活動組織）との連携を継続していく必要があります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010205

事業名		地域資源活性化推進事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課					
根拠法令										
令和4年度決算額		556	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	556	千円							
事業費（総計）		1,988	千円	総合評価	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>					
決算額		556	千円							
人件費		1,432	千円							
事業の目的		生産者及び生産者を含む団体による地域資源を活用した取組を総合的に推進することにより、農畜水産業の振興を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>2 飢餓をゼロに</p> </div> <div> <p>1 東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい補助金 東胆振の食材の魅力を発掘・再発見し、発信するイベントを実施する東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい実行委員会に対し、補助金を交付しました。 (令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響によりフェアに変わりスタンプラリー形式で開催)</p> <p>2 地元農畜水産物消費拡大事業補助金 地元農畜水産物や、地元農畜水産物を活用した加工品の消費拡大を図ることを目的としたイベント等に出店する団体等に対し、補助金を交付します。 (令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響もあり、実績なし)</p> </div> </div>								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度		
		地産地食フェア参加者数（スタンプラリー形式）			人	66	203	—		
		参加店舗数			店舗	39	37	—		
		消費拡大事業補助件数			件	0	0	1		
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性		●						地元食材の魅力を発掘を通して地域活性化に貢献できていると考えているため、「3」としました。
		効率性		●						地元農畜水産物の消費拡大を図るため、事業を実施することで効果が得られると考えているため、「3」としました。
		公平性		●						イベント開催が難しい情勢でも広く活用できるように見直していく必要があることから、「3」としました。
将来性		●			今後も事業を継続して行くことで地元農畜水産物の長期的な消費拡大に繋がると考えているため、「3」としました。					
総合評価		B			おおむね目的に合った事業を展開できていますが、今後はその時の情勢に合わせて有効に事業を活用できるよう検討し、地元食材の魅力を発掘を通して地域活性化に貢献していきたいと考えています。					
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010206

事業名		肥料価格高騰対策農業者支援事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課						
根拠法令											
令和4年度決算額		1,850	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金	1,400	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	450	千円								
事業費（総計）		3,906	千円								
決算額		1,850	千円								
人件費		2,056	千円								
事業の目的		化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇しており、肥料価格の急騰が農業者の経営を圧迫しています。肥料価格上昇分の一部を支援することにより、農業者の負担軽減を図るものです。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>令和4年6月～令和5年2月に肥料を購入又は発注した農業者に対し、価格高騰分の3割を支援（道支援分を除く）しました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		肥料購入者支援件数			件	24	-	-			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							価格高騰により、農業経営の負担が増している中、肥料価格の高騰分の一部を支援することで、影響緩和につなげたため、「4」としました。		
効率性		●							関係機関と連携することで、対象者からの申請及び支援金交付を迅速に対応できたため、「4」としました。		
公平性		●							対象期間に肥料を購入する支援農業者は支援対象となるため、「4」としました。		
将来性			●			単年度の事業であるが、対象者の事業継続に資する支援のため「3」としました。					
総合評価		A				地方創成臨時交付金を活用した事業であることから単年度事業ではあったが、農業者が大きく影響を受けている肥料価格の高騰に対する支援措置を行ったため、効果は十分あったと考えられます。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 03農業振興費

事務事業番号 06010301

事業名		農業・畜産・酪農収益力強化対策事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課				
根拠法令									
令和4年度決算額		3,088	千円	項目評価		総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	3,088	千円						
事業費（総計）		5,237	千円						
決算額		3,088	千円						
人件費		2,149	千円						
事業の目的		農林水産省では、「農畜産業の競争力強化」に向け、農家をはじめとした、地域に存在する組織、自治体及び関連産業等の関係者が有機的に連携・結集し（畜産クラスター）、地域ぐるみで収益性を向上させる事業をはじめ、競争力の向上、自給飼料生産拡大などの事業を実施します。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>平成27年度農林水産省の畜産・酪農の競争力強化対策事業を実施することになった、JAとまこまい広域の事業であり、個々の事業に支援するのではなく、関連事業を一元化させた事業（土づくり）⇒自給飼料用種子購入⇒自給飼料の生産（収穫等）⇒良質な自給飼料で育った子牛の保留をJAとまこまい広域畜産部が実施、その事業に対し苫小牧市が支援することで、連携して収益力の強化になるよう目指しました。</p> <p>2 持続可能な生産</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 土壌診断助成事業 土壌分析に基づく施肥や地域に適合した牧草・農畜産物等、優良品種導入等の取組 2 草地更新種子助成事業 国産粗飼料の生産拡大を図るため、飼料作物種子の活用、飼料生産の向上に向けた取組 3 粗飼料確保対策事業 酪農畜産業化における配合飼料高騰等を鑑みた安定的な経営維持を目的とした、国産粗飼料の確保を支援する取組 4 優良繁殖用家畜導入・保留事業 農業経営の安定向上を計るための畜産・酪農振興措置として、畜産農家が繁殖用の優良な家畜を導入・保留した場合、酪農農家が優良な乳用牛を導入・保留した場合に補助する取組 5 黒毛和種繁殖牛群改良事業 ゲノミック（遺伝子情報）解析により、従来より早く得られる精度の高い母牛の産肉能力情報を用いることで、黒毛和種繁殖牛群の改良並びに有利販売につなげる取組 							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		乳量			t	3,358	3,283	3,164	
		肉用牛の飼養頭数			頭	501	441	427	
項目評価		高 → 低			評価の理由				
		4	3	2	1				
有効性		●				各事業毎に補助額は異なりますが、費用の一部を市及びJAとまこまい広域が負担していることから、農家の負担を軽減したため、「4」としました。			
効率性		●				より優良な家畜を導入できる取組や補助を行うことで、農家の農業経営の安定向上につながったため、「4」としました。			
公平性			●			JAとまこまい広域との共同事業であり、市内農家の多くがJA組合員であることからおおむね利益を享受できたため、「3」としました。			
将来性		●				飼養戸数や頭数が減少を続けるなど生産基盤が弱体化していることから、持続的な発展に支障が生じかねない状況となっているため、農家を支援していくうえで必要な事業と考えられるため、「4」としました。			
総合評価		A			地域ぐるみで収益性を向上させる事業をはじめ、競争力の向上、自給飼料生産拡大などの事業目的に有効な取組と判断しました。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 03畜産業費

事務事業番号 06010302

事業名		畜産担い手育成総合整備事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課																																	
根拠法令																																						
令和4年度決算額		4,428	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">項目評価</td> <td colspan="3"> </td> <td rowspan="6"> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td rowspan="6" style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,658</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,770</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>5,860</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>4,428</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>1,432</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価					<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td rowspan="6" style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	総合評価		B	財源内訳	国道支出金		千円	地方債		千円	その他	2,658	千円	一般財源	1,770	千円	事業費（総計）		5,860	千円	決算額		4,428	千円	人件費		1,432	千円
項目評価					<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td rowspan="6" style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	総合評価		B																														
総合評価		B																																				
財源内訳	国道支出金					千円																																
	地方債					千円																																
	その他		2,658			千円																																
	一般財源		1,770	千円																																		
事業費（総計）			5,860	千円																																		
決算額		4,428	千円																																			
人件費		1,432	千円																																			
事業の目的		<p>草地の基盤整備を行うことで、良質な粗飼料確保及び低コストで生産性の高い経営体の育成を促進し、良質乳の安定生産や肉牛生産の増加による経営安定など、担い手農家の育成と地域酪農畜産経営の安定的な発展につなげます。</p>																																				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>本事業は実施運営主体である（公財）北海道農業公社が東胆振中東部地域を対象に草地畜産基盤整備事業実施計画を作成し、それに基づき地域における草地その他の畜産基盤を総合的に整備するものです。 市内農家及び苫小牧市有樽前放牧場の草地改良につきましても、本事業の一環として実施することから負担金を納入しました。</p>																																				
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>草地改良面積</td> <td>m²</td> <td>155,100</td> <td>296,400</td> <td>296,400</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度	草地改良面積	m ²	155,100	296,400	296,400																								
指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度																																		
草地改良面積	m ²	155,100	296,400	296,400																																		
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>例年、放牧場利用者から預託を受けている牛に与える牧草の生産性が草地改良を行うことで向上するため、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>市有放牧場に預けることで農家の業務量及び飼料量の軽減となり、経営の効率化につながるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>放牧場へ預託する牛はワクチン接種等を条件としているものの、市内だけでなく管内の農家からも利用されたため、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>市有放牧場は市内及び管内の農家に利用してもらうことで価値が生まれるため、利用者数の減少とならないよう取り組んでいく必要があるため、「3」としました。</td> </tr> </tbody> </table>				高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性		●			例年、放牧場利用者から預託を受けている牛に与える牧草の生産性が草地改良を行うことで向上するため、「3」としました。	効率性	●				市有放牧場に預けることで農家の業務量及び飼料量の軽減となり、経営の効率化につながるため、「4」としました。	公平性		●			放牧場へ預託する牛はワクチン接種等を条件としているものの、市内だけでなく管内の農家からも利用されたため、「3」としました。	将来性		●			市有放牧場は市内及び管内の農家に利用してもらうことで価値が生まれるため、利用者数の減少とならないよう取り組んでいく必要があるため、「3」としました。
	高 → 低					評価の理由																																
	4	3	2	1																																		
有効性		●			例年、放牧場利用者から預託を受けている牛に与える牧草の生産性が草地改良を行うことで向上するため、「3」としました。																																	
効率性	●				市有放牧場に預けることで農家の業務量及び飼料量の軽減となり、経営の効率化につながるため、「4」としました。																																	
公平性		●			放牧場へ預託する牛はワクチン接種等を条件としているものの、市内だけでなく管内の農家からも利用されたため、「3」としました。																																	
将来性		●			市有放牧場は市内及び管内の農家に利用してもらうことで価値が生まれるため、利用者数の減少とならないよう取り組んでいく必要があるため、「3」としました。																																	
総合評価		B			<p>市有放牧場の生産性を草地改良により向上させることで、利用される市内及び管内の農家の経営効率化の一役を担っていると考えております。</p>																																	
特記事項																																						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 02水産業費

目 01水産振興費

事務事業番号 06020101

事業名		苫小牧産農水産物プロモーション事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課																																		
根拠法令																																							
令和4年度決算額		400	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他		千円																																				
	一般財源	400	千円																																				
事業費（総計）		1,116	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 10px;">B</div>																																			
決算額		400	千円																																				
人件費		716	千円																																				
事業の目的		<p>漁獲量日本一を誇るホッキ貝を筆頭に苫小牧市では様々な水産物が水揚げされており、観光客の誘致や水産振興等が図られています。そのため、更なる周知と消費拡大を目的とした事業に対する補助を行っています。あわせて、水産物だけではなく農産物にも興味を示してもらうため、農水産業者と都市住民の交流を図ります。</p>																																					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ホッキまつり補助金について 毎年10月第3日曜日に苫小牧港西港漁港区で開催され、運営費の補助を行います。 (令和4年度は新型コロナウイルスの影響により中止したため実績なし) 苫小牧産水産物パワーアップ補助金について 「苫小牧産ほっき貝」の個人向け消費拡大に向けて、加工品等の販売促進のため、付加価値向上に係る費用（パッケージ製作費）に対して補助を行いました。 グリーンツーリズム展開事業 都市住民と農水産業者との交流が期待できる事業に対して補助を行います。 (令和4年度は実績なし) 																																					
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">苫小牧漁港ホッキまつり来場者数</td> <td>人</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td colspan="2">苫小牧漁港ホッキまつり補助金</td> <td>千円</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td colspan="2">苫小牧産水産物パワーアップ事業補助金</td> <td>千円</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>				指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度	苫小牧漁港ホッキまつり来場者数		人	中止	中止	中止	苫小牧漁港ホッキまつり補助金		千円	中止	中止	中止	苫小牧産水産物パワーアップ事業補助金		千円	400	400	400										
指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度																																		
苫小牧漁港ホッキまつり来場者数		人	中止	中止	中止																																		
苫小牧漁港ホッキまつり補助金		千円	中止	中止	中止																																		
苫小牧産水産物パワーアップ事業補助金		千円	400	400	400																																		
項目評価		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>特産品のパッケージ製作により知名度向上や販売促進に有効であったと考えますが、事業の一部の実施のみにとどまったことから「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>ブランド等を示すことで個人向け消費の拡大を図ることは効率的であると考え「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>市の貝である「ほっき貝」についてのみの販売促進を目的としているため公平性は「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>即日の効果は見えづらいが、各種事業実施により知名度向上や消費拡大につながるものと考え「4」としました。</td> </tr> </tbody> </table>					高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性		●			特産品のパッケージ製作により知名度向上や販売促進に有効であったと考えますが、事業の一部の実施のみにとどまったことから「3」としました。	効率性		●			ブランド等を示すことで個人向け消費の拡大を図ることは効率的であると考え「3」としました。	公平性		●			市の貝である「ほっき貝」についてのみの販売促進を目的としているため公平性は「3」としました。	将来性	●				即日の効果は見えづらいが、各種事業実施により知名度向上や消費拡大につながるものと考え「4」としました。
	高 → 低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性		●			特産品のパッケージ製作により知名度向上や販売促進に有効であったと考えますが、事業の一部の実施のみにとどまったことから「3」としました。																																		
効率性		●			ブランド等を示すことで個人向け消費の拡大を図ることは効率的であると考え「3」としました。																																		
公平性		●			市の貝である「ほっき貝」についてのみの販売促進を目的としているため公平性は「3」としました。																																		
将来性	●				即日の効果は見えづらいが、各種事業実施により知名度向上や消費拡大につながるものと考え「4」としました。																																		
総合評価		B				<p>おおむね目的に沿った事業が展開できていると考えます。令和5年度にはコロナウイルスにより中止していたイベントの復活等が予定されており、事業継続により今後さらなる効果を期待し実施してまいります。</p>																																	
特記事項																																							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 02水産業費

目 01水産振興費

事務事業番号 06020102

事業名		資材価格高騰対策漁業者支援事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課						
根拠法令											
令和4年度決算額		6,225	千円	項目評価		総合評価	A				
財源内訳	国道支出金	5,000	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	1,225	千円								
事業費（総計）		7,797	千円								
決算額		6,225	千円								
人件費		1,572	千円								
事業の目的		物価高騰に伴い漁業用資材の価格が上昇しているが、魚価への価格転嫁は難しく、漁業経営を圧迫しています。資材の中でも漁業者の多くが使用する出荷用魚箱（発泡スチロール箱）の購入費に対して支援を行い、漁業者の負担軽減を図るものです。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>令和4年1～12月の期間で苫小牧漁業協同組合から魚箱を購入する組合員及び漁業協同組合に対し、魚箱購入額の20%を支援しました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		漁業用資材購入者支援件数			件	82	—	—			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							価格が高騰している資材に対しての支援であるため、有効性は「4」としました。		
効率性		●							漁業協同組合と連携し、速やかに対象者へ支援を実施できたことから「4」としました。		
公平性		●							魚箱類の実際の購入数に対して支援をしているため、公平性は「4」としました。		
将来性			●			単年度の事業であるが、対象者の事業継続に資する支援のため「3」としました。					
総合評価		A				地方創生臨時交付金を活用し、価格高騰資材に対する支援を実施したことから、有効な事業であったと考えております。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 02水産業費

目 01水産振興費

事務事業番号 06020103

事業名		水産業振興対策事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課				
根拠法令									
令和4年度決算額		30,600	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	30,600	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）		32,391	千円	総合評価	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>				
決算額		30,600	千円						
人件費		1,791	千円						
事業の目的		苫小牧港西港漁港区にて荷揚げされる漁獲物の処理については、厳冬期及び強風時の厳しい環境下での作業が大きな負担となっていることから、この課題を解消するため、苫小牧漁業協同組合が事業主体となり、漁獲物処理就労環境改善施設を整備するものです。							
事業の内容		SDGs17の目標 漁獲物処理就労環境改善施設 4棟 付帯工事 1式 外構工事 1式							
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		漁獲物処理就労環境改善施設整備棟数			棟	4	—	—	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				これまでと比較し、風雨を防いで漁獲物処理作業が実施できるようになったことから、有効性は「4」としました。			
効率性		●				補助金を活用し、必要とする施設整備が実施できたため「4」としました。			
公平性			●			漁業者の就労環境改善につながったため「3」としました。			
将来性			●			単年度事業ではありますが、受益者に対し将来性がある施設の整備を実施できたため「3」と評価しました。			
総合評価		B		事業目的である漁業者の就労環境改善とともに、収益性の向上にも期待が持てることから、有効な事業であったと考えております。					
特記事項									